



# 三の丸だより 新春号

発行所  
自衛隊茨城地方協力本部  
募集課広報班  
水戸市北見町1-11  
水戸地方合同庁舎  
☎(029)231-3315



## 新年のご挨拶

茨城地方協力本部  
本部長 1等空佐 栗秋 健士

謹賀新年  
幸多き新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年中は、格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年、自衛隊70周年でした。私は自衛隊35年目に入りますが、年を重ねるごとに、自衛隊の認知度と自衛隊への期待度が、どんどん高まっているのを実感します。これも偏に、これまでの諸先輩方の誠意ある行動と地域の方々の協力、そして、たくさんの方々の応援も含めた様々な相乗効果によるものだと感じています。私たちが現役は、この環境に感謝しつつ、さらに良い状態で後輩たちに繋いでいかなければなりません。国を守ることは自衛隊だけではできません。自衛官、予備自衛官、国民が、自衛官であるときも、自衛官でないときも、そして自衛官でなくても、どこにいても日本を守っている。そういう思いが広がることで、環境も変わるのだと思います。

さて、昨年3月に上りました勝田駅前での市街地広報でした。その後は、6個事務所すべてで、看板整備や台帳閲覧などの広報官見習いを行い、加えて、職員全員との面談も行ってきました。本部長、広報官、援護マンたち一人一人と話をすることで、現場の思いや壁、時間的・距離的な、加えて世間の意思疎通のズレなんかも知ることができました。大切な「コミュニケーション」で、まず「思い」をきちんと伝え、皆の意見も取り込むことが大切でした。

今、茨城地本では、やりたいこと・やるべきことを共有し、お互いに笑顔で、熱意を発揮できる環境作りに取り組んでいます。今年は、さらに創意を凝らして、皆さんの大切な家族を託される窓口として、信頼される自衛官の勤務姿を見せていきたいと思っています。

そういえば、広報官見習いをする中で気が付いたのですが、「任期制」は「人気制」と聞こえている感がありますね。期限付きであることや、退職時に手厚い就職支援があることなどが、ちゃんと知られていません。私たち自衛隊は、国民の大切な家族を預かり、丁寧に育て、人材として社会に還元しています。転職によるキャリアアップが定着した社会においても、自衛隊の「任期制」を理解してもらい、人材活用の時期を整頓して循環させることが、日本の人材不足解決の一つの鍵となるのかもかもしれません。今年は、皆さんと様々な意見交換ができればと思います。

令和7年、茨城地本は、募集と援護の相乗効果を発揮できるように、さらに工夫していきます。加えて、令和8年度の地本70周年を迎える準備も行っていきます。本年もよろしく願っています。



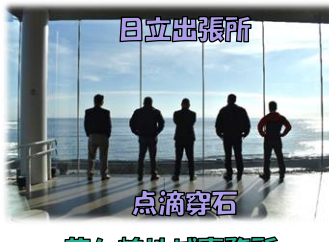
土浦地域事務所

すべてにベスト!



水戸募集案内所

一期一会  
心を燃やせ



日立出張所

点滴穿石



自衛隊茨城地方協力本部



百里分駐所

笑顔で  
機運上昇

県西地域  
援護センター



筑西地域事務所

切磋琢磨

県南地域  
援護センター



龍ヶ崎地域事務所

疾風怒濤

県北地域  
援護センター



えん(円・縁・援)



連携



兀々(こつこつ)

今年もよろしく!



小梅

ひばり

のばら

今年還暦です。この還暦という節目の年に茨城地本の一員として迎えられることに感謝しております。今年健康第一に考え、頑張りたいと思います。



大森非常勤

おかげさまで、3回目の年男を迎えることができました。しっかりと四十肩を完治させ、仕事に子育てに頑張っていきます!

筑西所



田中3曹

茨城地本に勤務して早くも一年を迎えようとしております。この間たくさんの方々から助けられ4回目の年男を迎えることができました。これからも感謝の気持ちを忘れず任務に邁進していきます。

龍ヶ崎所



江野澤2曹

新年おめでとうございます。早いもので還暦を迎える年になりましたが気持ちはこの写真のように、いつまでもジョニーといわれるように元氣一杯で勤務したいと思っています。本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

龍ヶ崎所



岡本准尉

年男・年女の抱負



# 1年を振り返って



## 総務課

### 5月 財政監査

本部及び水戸募集案内所において関東財務局による財務監査を受察し、合規適正な業務との評価を受けるとともに、今後の業務に対する資を得ました。

### 06JXR

本部において、近隣に所在する行政機関を招待し大規模災害における「自衛隊指揮所」見学説明会を実施しました。発災時の活動説明、能登半島地震への派遣活動について動画映像による紹介を行い、自衛隊災害派遣の要領や重要性について理解促進を図りました。終了後は意見交換を行い、発災に備えたプッシュ型支援や避難者支援などの活動事例を共有し、引き続き各機関が相互協力し連携する必要性を確認しました。



## 募集課

### 4月 防衛協会総会支援

水戸京成ホテルにおいて、防衛協会総会を支援しました。防衛協会会員及び茨城県内駐屯地・基地司令が参加し、防衛基盤の拡充を図りました。



### 5月 茨城県家族会総会支援

ホテルレイクビュー水戸において、茨城県家族会総会を支援しました。家族会会員、茨城県内駐屯地・基地の家族支援を担当する業務隊長、総務部長及び厚生課長等が参加し、防衛基盤の拡充を図るとともに親睦を深めました。



### 6月 協力団体合同 富士学校・近迫射撃研修

富士学校及び東富士演習場において茨城県家族会、茨城県防衛大学校学生父母会及び茨城県高等工科学学生保護者会の会員に対し研修を実施しました。3協力団体の協力・連携及び家族会の若返りに寄与するとともに、自衛隊の職種についての理解を図りました。



### 7月 艦艇広報

鹿島港において、掃海艦「あわじ」による艦艇広報を実施しました。440名の来場者を得て、海上自衛隊に対する親近感の向上と自衛官募集に対する理解の促進を図りました。



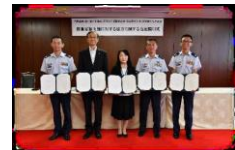
### 7月 方面総監による茨城県知事表敬、初度視察

方面総監による茨城県知事表敬及び初度視察を受察し、県との連携を深めるとともに、地本各種業務の実施状況を確認されました。



### 9月 家族支援に対する協定締結

百里基地において、茨城県自衛隊家族会・茨城県隊友会と航空自衛隊百里基地及び霞ヶ浦分屯基地の間の家族支援に対する協定を締結しました。段階的に実動訓練等実施し、実効性の向上と連携の強化を図っていきます。



### 10月 防衛白書説明

本部長及び副本部長は、県内35箇所の各市町村に対し、防衛白書説明を実施することにより、我が国防衛の現状とその課題及びその取組を周知するとともに、地域との連携を図りました。



### 8月 自衛隊いばらきEXPO

茨城地本ここにあり！水戸黄門まつりに併せて、茨城県警察との合同採用説明会と総務省茨城行政相談センターによるイベントが開催されました。装備品展示や、VRゴーグルを使用した飛行体験コーナーが大盛況でした。



### FMぱるるん公開生放送

水戸市で開催された「水戸黄門漫遊マラソン」においてFMぱるるんが実施する公開生放送に本部長と広報官が参加しました。自衛隊の任務及び職種について、水戸市内及びリスナーに対し親近感と理解を図ることができました。



### 10月 フェスティバル神立2024への参加

土浦市立神立小学校を会場に開催された「フェスティバル神立2024」に参加しました。茨城地本オリジナルキャラクター「にゃっとら」が大好評であり、自衛隊に対する親近感が大きく向上しました。また、茨城県防衛協会会長、同青年部部長の激励を受けたほか、茨城県議会議員で防衛協会青年部会員の来訪があり、予備自衛官補に志願する意思の表明と訓練日程等の確認を受けるなどの成果があり、自衛隊に対する認知度の向上を図ることができました。



# 援護課 総括班

## 4月5月 中隊長・課長等援護会同

勝田・霞ヶ浦・古河駐屯地に所在する各部隊の中隊長・課長等との会同を実施しました。令和6年度就職援護施策について周知するとともに、隊員により良い再就職の援助のため、協力いただくよう依頼しました。



## 6月 茨城県自衛隊退職予定隊員就職連絡会

航空自衛隊百里基地において、厚生労働局、公共職業安定所及び自衛隊援護協会東京支部が参加し、茨城県自衛隊予定隊員就職連絡会議を実施しました。茨城県の雇用情勢や就職援護業務及び自衛官募集について発表し、職業安定機関と自衛隊で意見交換を行い関係強化に努めました。



## 6月 任期制隊員ライフプラン集合訓練

勝田・霞ヶ浦・古河駐屯地において、令和6年度ライフプラン集合訓練を実施しました。任期制隊員に対して、ライフプランの意義、任期制の進路を教育し、人生設計の重要性を理解させました。



# 予備自空

## 3月 協力事業所表示票交付

即自雇用企業である「協和技研株式会社」、「株式会社うらら」、「杏岐商店」の3社に予備自衛官等協力事業所表示証交付を実施しました。



## 7月 予備自衛官1日間招集訓練

霞ヶ浦駐屯地及び地本本部において、予備自衛官1日間招集訓練を実施しました。訓練には10名の新規予備自衛官が参加しました。



## 7月 予備自衛官補辞令所交付式

本部において、今年度採用された予備自衛官補10名に対して辞令書交付式、サービスの宣誓、訓練に必要な知識等について教育を実施しました。



茨城地方協力本部のHP・SNSも見ちゃ!



## 6月 陸士就職補導教育

勝田・霞ヶ浦・古河駐屯地において、民間企業に再就職を希望する任期制隊員に対し、陸士就職補導教育を実施しました。参加隊員に職業適性検査による最適な業種を診断するとともに、再就職に必要な知識及び心構えについて教育しました。



## 8月 夏期遺族訪問

公務中に殉職した自衛官のご遺族宅を訪問し、全国の隊員からの募金による見舞金等を手渡しました。ご焼香により殉職隊員に対し敬意を表しました。ご遺族がご健康で生活されていることを確認していました。



## 9月 令和6年度 茨城県合同企業説明会

ひたちなか市内のホテルにおいて、茨城県内に就職を希望する任期満了予定隊員及び若年定年退職予定隊員に対し、令和6年度茨城県合同企業説明会を開催しました。参加隊員は茨城県内企業との面談を実施し、直接雇用情報等の提供を受け、再就職準備の円滑化を図っています。



## 10月 令和6年度 自衛隊遺族会茨城県支部総会

勝田駐屯地において、令和6年度自衛隊遺族会茨城県支部総会を支援しました。同支部が実施する事業及び今後の支部のあり方について意見交換をしました。



## 令和6年度 陸上自衛隊演習

関東補給処において、令和6年度陸上自衛隊演習の一環で、初の予備自衛官を活用した演習が実施され、予備自衛官として全面的に協力しました。



## 10月 関東甲信越静岡ブロック研修会

隊友会が実施する関東甲信越静岡ブロック研修会において、令和6年度は茨城県が担当となったことに伴い、本研修会を支援しました。



## 11月 予備自衛官5日間招集訓練

勝田駐屯地において、予備自衛官5日間招集訓練が実施され、約120名の予備自衛官が出頭しました。この際、5名に対して、永年勤続表彰等を実施し士気の高揚を図りました。





茨城県防衛協会 会長 中川 喜久治

新春を迎え、心からお慶び申し上げます。新たな一年が皆さまにとって希望に満ち、健やかでありますよう心よりお祈り申し上げます。

昨年は、国内外で多くの困難な状況が続きましたが、自衛隊の皆さまは、過酷な環境下でも揺るぎない覚悟で任務を遂行して

おり、その姿勢は私たちに誇りを増やして、信頼の源です。特に近年は、国際的な安全保障環境が一層厳しさを増す中で、自衛隊の重要性はますます高まっております。



茨城県自衛隊隊員者雇用協議会 会長 棚谷 定俊

新春、明けましておめでとうございます。旧年中は、格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

さて、昨年を振り返りますと、世界情勢はロシアによるウクライナ侵攻やイスラエル・パレスチナ問題など未だに予断を許さない高い緊張状態が続いております。

国内をみますと、能登半島地震等の災害が発生し、多くの自衛官が災害派遣に従事されておりましたが、自衛隊発足70周年の記念の年を迎えて、着々と歩み続ける自衛隊の存在が非常に頼もしく感じられております。



茨城県隊友会 会長 西村 健二

明けましておめでとうございます。昨年は、10年に一度の輪番で茨城県隊友会が担当となり、関東甲信越静ブロックの1都10県の隊友会会長等のご協力を招致してブロック研修会を開催しました。

をいただいた土浦駐屯地並びに茨城地方協力本部の関係者の皆様にご挨拶を申し上げます。

さて、我が国は戦後最も厳しい安全保障環境に直面していますが、抑止に失敗してロシアの侵略を許したウクライナの轍を踏むことがあってはなりません。



茨城県自衛隊家族会 会長 西田 初代

新年明けましておめでとうございます。茨城地方協力本部の皆様、協力諸団体の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えの事と心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より当会に対し、ご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、昨年、国内では能登半島地震の発生に伴う自衛隊の災害派遣で年

の戦争に終結の兆しも見えないなか、領域拡大を目論む中国の無謀な行動は台湾のみならず日本に対しても大きな脅威となっております。

このような状況において、防衛省自衛隊が部隊の精強化と防衛態勢の充実に努めておられる姿に接するにつけ、敬意と感謝を申し上げる次第です。



茨城県防衛協会青年部会 会長 狩野 平左衛門岳也

あけましておめでとうございます。一年はあっという間に令和7年のスタートです。令和7年といえは2025年、皇紀では2685年になり太平洋戦争

終結80年目となります。いまだに戦争、紛争、内乱、ゲリラなどあちこちで争いが絶えません。とても悲しいです。

私は日本遺族会青年部員(孫の世代で三世)の一員として先の大戦で亡くなった戦没者の遺骨収集及び調査派遣のボランティア活動をしてい

ます。今までの派遣を通して感じるのは、戦争は絶対してはいけない！生死に関わりなく戦争に開かれた軍人や軍属、そして家族等の思いはとて崇高

あり純粋に愛に溢れていたという事、そして今も人に知られていない土地や海中などに残された遺骨がたくさんあるという事実を肌で実感、そ

して不思議な体験をしました。戦後から80年という長い歴史の中で忘れられようとしているこれらの御遺骨を一粒でも日本の土に還したい！という思いで活動しています。

今、平和な日本があるのも、愛する人を守るのも、愛する国を守るという崇高な気持ちと心の叫びを、決して忘れてはならないと思います。



高等工科学校茨城県保護者会 会長 川崎 知美

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。茨城地方協力本部の皆様、協力団体の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えの事と心よりお慶び申し上げます。

日頃より当会に対しましてご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。おかげさまで今春には高等工科学校から茨城県出身の生徒9名が新たに任官する見込みであります。

自衛隊を取り巻く環境は、度重なる激甚災害への対応、日本と近隣諸国間の緊迫した状況等を鑑みしても、大変厳しいものになっていく事と思

います。国防を担うという崇高な志を若いうちから立たれた彼らを、これからも地方協力本部の皆様のお力添えを賜りながら保護者一同あたたかく支援してまいりたいと思っております。



茨城地方協力本部後援会 会長 江橋 忠芳

新年あけましておめでとうございます。自衛隊茨城地方協力本部の皆様、協力団体の皆様におかれましては、お健やかに新年を迎えられたこと、心よりお喜び申し上げます。

さて、昨年は、石川県能登地方において元日より「最大震度7」の地震が発生し、9月には台風・大雨による豪雨災害より甚大な被害を受け、近年自然災害が激甚化しております。

そういった中、自衛隊は各自治体等と連携し、人命救助、被災者の生活支援などの災害派遣活動を行っており、国民からの自衛隊に対する期待や信頼は更に高まっていると思っております。

自衛隊茨城地方協力本部後援会としても引き続き、防衛問題等に理解を深め、自衛隊の活動を支援し、自衛隊茨城地方協力本部の更なる発展にお力添えできるよう努めて参りたいと思っております。



茨城地方協力本部OB会 会長 吉岡 昭彦

新年あけましておめでとうございます。茨城地方協力本部の皆様、各協力団体の皆様、そしてOB会員並びにご家族の皆様、健やかに新年を迎えられたことを心よりお喜び申し上げます。

昨年は、コロナから日常を取り戻した2年目の年でした。我がOB会も5年ぶりに茨城地方協力本部の協力と参加を得て懇親会を行うことができました。今年もグレードアップした懇親会を行い会員相互の絆を深めて行きたいと思っております。

我がOB会のもう一つの存在意義があります。それは自衛官募集の協力、特に重視しているのは自衛官候補生の志願者情報の提供です。今年も全会員(現在67名ですが)、可能な限り協力し、一人でも多くの志願者を見つけていきたいと思っております。

最後に、茨城地方協力本部の皆様及び各協力団体の皆様が一年間健康でかつ元気に過ごせることを祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。